

立命館経済学 第十五卷総目次 (昭和四十一年度)

論 説

利潤率低下の阻止要因としての独占の意義と限界……………	手島正毅	一……一	三(三三)
E E Cの共通エネルギー政策……………	清水貞俊	一……三	四(四四)
A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミルにおける 公債に関する理論の展開 II……………	箕浦格良	一……四	六(六六)
——古典学派における財政思想(九)——			
「産業革命」以前における石炭鉱業の形成……………	戸木田嘉久	二……一	八(八三)
近世における京都室町商人の系譜(1)……………	足立政男	二……五	九(九二)
A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミルにおける 公債に関する理論の展開 III……………	箕浦格良	二……一	四(四六)
——古典学派における財政思想(10)——			
日本資本主義の各発展段階における インフレーションの諸形態と諸特徴……………	武藤守一	三……一	五(五九)
近世における京都室町商人の系譜(2)……………	足立政男	三……四	七(四七)
A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミルにおける 租税理論の展開 II……………	箕浦格良	三……九	七(四五)
——古典学派における財政思想(11)——			

国家独占資本主義論についての覚え書……………井上晴丸 三…一七(四七五)——三四(四九二)

エネルギー問題の所在……………有沢広巳 四…一(五〇五)——三(五五五)

スウェーデンにおける「ケインズ革命」論考……………浜崎正規 四…三(五三〇)——五(五五四)

A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミルにおける
租税理論の展開 III……………箕浦格良 四…五(五五五)——六(五七〇)

——古典学派における財政思想(12)——

法人課税の発展史的考察(上)……………加藤睦夫 五…一(五九五)——二(六二〇)

資本自由化と中小企業……………武藤守一 五…一(七六一)——四(六三七)

社会主義的分配関係の本質について(一)……………小野一郎 五…一(四六三)——六(六六二)

A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミルにおける
租税理論の展開 IV……………箕浦格良 五…一(六六三)——九(六九二)

——古典学派における財政思想(13)——

資料

労働力不足と中小企業の実態(1)……………浜崎正規 一…一(六九)——三(一三三)

——近畿地方のケース・スタディを中心として——

労働力不足と中小企業の実態(2)……………浜崎正規 二…一(三三三)——三(三四五)

——近畿地方のケース・スタディを中心として——

工業都市の市民所得……………建林正喜 五…一(九六三)——二(七三二)

海外留学記

ドイツの旅……………足立政男 一…一(三三三)——二(四八八)

ソヴェト旅行雑感……………岡崎栄松 四……六七(七二)——九〇(五九四)

書 評

吉村達次著『経済学方法論』……………相沢秀一 三……一三五(四九三)——一四四(五〇三)

学 界 動 向

経済学史学会関西西部会第四〇会研究会……………細見英 一……一四九(四九)——一八一(八一)

第三十五回社会経済史学会全国大会……………足立政男 二……一六四(三四〇)——一七〇(三五二)

日本財政学会第二十三回大会……………箕浦格良 五・六……一八七(七三)——一三五(七九)

共 同 研 究 室

第一回研究会「労働力不足と中小企業の実態」……………浜崎正規 一……一八二(八)——一八一(八一)

第二回研究会「国家独占資本主義論について」……………池上惇 二……一七二(三五三)——一七五(三五七)

第三回研究会「マルクス主義における

△思想と科学△△論理と歴史△」……………細見英 三……一四五(五〇三)——一四四(五〇三)

第四回研究会「ロンドンでの留学生生活」……………岡崎栄松 五・六……一三五(七三九)——一三七(七三二)

本年度会員業績……………五・六……一三七(七三二)——一三六(七三二)